

プログラミング部

インドネシア バリ島でのプログラミングを通じた社会貢献活動のため クラウドファンディングを実施

順天堂大学系属理数インター高等学校 プログラミング部では、インドネシア バリ島の孤児院でのプログラミング支援をはじめとする活動計画に対するクラウドファンディングを実施しました。「プログラミングを通じて、様々な社会課題の解決に寄与したい」として集った生徒たち。グローバルの視点から見てきた、「バリ島の社会福祉」に関する課題の解決に向けて活動の準備をしています。

クラウドファンディング受付 【 Yellz (エールズ) 】 <https://yellz.jp/>

プロジェクト名

「未来を創る高校生エンジニアの育成プロジェクト」
全国大会優勝を勝ち取ったチームがさらなる社会貢献を目指す!!
～ プログラミング部の教育活動の支援のお願い ～



期間は [2026年3月15日]まで となっています。

プログラミング部は、昨年度から活動を始めた設立間もない部活動です。そのため、十分な機材がそろっていないなど限られた環境の中で活動しています。それでも今では部員は24人にもなり、切磋琢磨してスキルとクリエイティビティを磨き、コンペティションでも成果を挙げています。

〔これまでのコンペティションにおける成果〕

- ・第2回全国高等学校 eDIY 選手権大会 (2024 年 11 月) … 「最優秀 eDIY 賞」
- ・第3回全国高等学校 eDIY 選手権大会 (2025 年 11 月) … 「Challenge award」
「Social award」他 特別賞 2 件
- ・全国高等学校課題解決アイデアコンテスト (2025 年 8 月) … 「最優秀賞」



現在、インドネシア バリ島の孤児院 (Yayasan Gayatri Widya Mandala) におけるプログラミング教育活動を企画しており、必要な機材や渡航にかかわる費用の支援を募りたく、この度のクラウドファンディングを開始しました。

この企画発案のきっかけは、本校で実施している「探究」の授業を通して、インドネシアにある様々な社会問題の要因の一つに十分な学びの機会を得られないケースがあることに気付いたことでした。特に、孤児院は運営資金を寄付とボランティアに依存しており、十分な教育の提供が難しいことから子供たちの将来の職業選択に必要なスキルを身につける機会が限られている現状がありました。そこで、グローバルな労働市場で求められる基礎力の一つであるプログラミングを伝えることができれば、〔デジタルスキルの向上〕〔論理的思考力・問題解決力の育成〕〔自己肯定感と創造力の醸成〕の効果を生み出し、ひいては〔将来の就労機会の拡大〕につながるのではないかと考え、本プロジェクトを立ち上げました。

【お問い合わせ先】 学校法人 宝仙学園 順天堂大学系属理数インター 中学校・高等学校
〒164-8628 東京都中野区中央2-28-3
TEL : 03-3371-7103 FAX (入試広報部) : 03-3371-7128